

////////////////////////////////////

いわて マナビィ マガジン

No.186 2019. 9.13

////////////////////////////////////

秋祭りの季節ですね。最近は夜になると笛や太鼓の音が響き、秋の風情を一層引き立ててくれます。皆さんがお住まいの地域でも秋祭りが始まる頃でしょうか？

さて、今回のマナビィ マガジンは、「推進センター事業報告」と「センター情報（9月下旬～10月上旬）」についてです。

センター事業報告

◆人づくり・地域づくり関係職員等研修講座◆

【実施日】令和元年8月23日（金）

【会場】岩手町スポーツ文化センター「森のアリーナ」（岩手町）

【研修内容】

○講義「今後の公民館・社会教育施設の在り方について」～「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりに向けて～

[講師] 山形大学地域教育文化学部 准教授 安藤 耕己 氏

※具体的な事例をもとに地域の実態に応じた、これからの公民館・社会教育施設のあり方について学びました。

【受講者からの感想】

・公民館が設置された頃の考え方や役割をもう一度振り返ってみる必要性に気づかせていただいた。迷った時は、基本に戻り事業の企画立案に努めていきたい。

（公民館・地区センター、図書館・博物館等職員）

・公民館の在り方や活用について法規を見ながら理解することができた。映像も交えての説明だったので、内容を理解することができた。

（人づくり・地域づくりに関わる他部局の職員）

◆子育て・親育ちサポートサロン（県北会場）◆

【実施日】令和元年8月27日（火）

【会場】二戸市民文化会館（二戸市）

【研修内容】

○講話「絵本が見せてくれる風景」

[講師] 絵本専門士 牧野 幹 氏

※絵本専門士として、絵本の魅力についてお話をいただくとともに、絵本をツールとした子どもとの楽しい遊びについて具体的にお話いただきました。

○ふれあい遊び「親子で楽しむ絵本と遊び」

[講師] 絵本専門士 牧野 幹 氏

※絵本を介した親子でのふれあい遊びをとおして、子どもと楽しくコミュニケーションを図る方法について具体的に学びました。

【受講者からの感想】

・子どもと一緒に楽しむことができた。たくさんの本を実際に見れたので私も息子も収穫の多い1日になった。

（就学前のお子さんをもつ保護者）

・本によって表現の仕方（声音やテンポなど）が違い、それぞれに楽しく進めている様子が参考になった。絵本を通しての子どもとの関わり方もコツも大変参考になった。（読書活動を支援しているボランティア）

◆家庭教育・子育て支援実践セミナー④◆

【実施日】令和元年8月28日（水）

【会場】生涯学習都市会館（花巻市）

【研修内容】

○ワークショップ「イライラする時ってどんな時？」～イライラの正体を突き止めよう～

[講師] 特定非営利活動法人 子育て応援隊ココネットあおもり
代表 沼田 久美 氏 副代表 久保田 正美 氏

※お互いの子育てに対する不安や悩みを交流しながら、これからの自分の育児や家庭生活に活かせる方法を共有しました。

【受講者からの感想】

・このセミナー4回全部参加できて良かった。どの回も内容が濃く、このセミナーを受けることで、新しい発見や気持ちの変化が見られるようになったと思う。(3歳～5歳児 母)

・心のモヤモヤを解消することができた。私だけでなく、他の人もモヤモヤする時があることを知り、気が楽になった。(3歳～4歳児 母)

◆事業プログラム企画運営研修講座◆

【実施日】令和元年8月30日(金)

【会場】岩手県立生涯学習推進センター(花巻市)

【研修内容】

○演習「講座づくりの基本 6つのポイント」

[講師]千葉大学 非常勤講師 越村 康英 氏

※講座づくりの過程を段階的に6つのステップで捉え、各段階のポイントを演習で学びました。

○講義「住民目線で地域に根ざした講座を企画するために」

[講師]千葉大学 非常勤講師 越村 康英 氏

※演習を振り返りながら、住民参画による講座づくりについて講義いただきました。

【受講者からの感想】

・講座づくりのために何が必要なのかや職員と住民との合意形成のポイントを知ることができた。今後の講座づくりに活かせる内容であった。(公民館・地区センター等職員)

・住民参画が大切であるということを改めて認識できた。講義では、事例発表も紹介していただいたおかげで、演習と講義の内容がリンクし、理解につながった。(地域おこし協力隊)

センター情報 (9月下旬～10月上旬の事業)

(1) 子どもの学びを支えるセミナー「センター会場」(9/20)

【対象】

- ・市町村等の生涯学習・社会教育関係職員 (公民館・地区センター職員)
- ・NPO法人・地域づくり関係者
- ・PTA、子ども会、育成会等社会教育関係者
- ・小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校等の教職員
- ・放課後子ども教室、放課後児童クラブ関係職員

【会場】岩手県立生涯学習推進センター (花巻市)

【研修内容】

○講義「情報メディアの光と影」

[講師] NPO法人企業教育研究会 事務局員 関谷 紳吾 氏

※講師の先生が変更になりました。

○実践発表

ア「宿泊通学合宿」

[発表者]岩手県立県南青少年の家 研修班長 高木 由子 氏

イ「チャレンジ イーハトーブ～岩手山一周トライアル!～」

[発表者]国立岩手山青少年交流の家 企画指導専門職 松本 博路 氏

[アドバイザー] NPO法人企業教育研究会 事務局員 関谷 紳吾 氏

【おすすめポイント!】

◎情報メディアの最新情報から、ネット依存の現状と、その対応策を

学びます。

◎実践発表では、宿泊通学合宿と長期自然体験事業の実践から、体験活動の重要性を学びます。

(2) 地域学校協働活動推進員（コーディネーター）研修会

[基礎編] (9/26)

【対象】

- ・概ね経験年数1年未満から3年までの地域学校協働活動推進員（コーディネーター等）
- ・地域学校協働活動推進員（コーディネーター）養成講座受講者
- ・各市町村担当者及び公民館・地区センター等でコーディネーター的役割を担っている方
- ・学校関係者（地域連携窓口教員等）
- ・その他関心のある方

【会場】岩手県立生涯学習推進センター（花巻市）

【研修内容】

○講話・演習「学校と地域をつなぐはじめての一步 ～地域学校協働活動を理解するために～」

[講師]東京都小平市 学校支援コーディネーターネットワーク

会長 布 昭子 氏

○グループワーク

①「学校と地域をつなぐはじめての一步 ～人をつなぐコツ～」

[講師]東京都小平市 学校支援コーディネーターネットワーク

会長 布 昭子 氏

【おすすめポイント！】

◎地域学校協働活動が求められる背景と地域学校協働活動推進員（コーディネーター）に求められる役割についてワークを交えて学びます。

◎それぞれの地域における地域学校協働活動の目指す姿をグループワークを通じて考えます。

メイン指定受信機能と思われます。受信設定の指定メールアドレス欄に「pref.iwate.jp」の設定をお願いいたします。



発行：岩手県立生涯学習推進センター（花巻市北湯口 2-82-13）

編集：熊谷 浩二